授業科目名・形態	老年看護方法論Ⅰ（生活行動援助）・演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	渡邉知子・工藤智美	実務経験の有無	有	開講期	２年前期
科目ナンバリング	N6-2007npmht				

【授業の主題】

老年期にある人の加齢に伴う変化や健康障害を理解し、日常生活に及ぼす影響や健康を支えるための看護援助を学ぶ。また、これらの学習を通して高齢者のもてる力を引き出し、その人らしく生活するための看護援助のあり方と方法について学習する。

【到達目標】

１．高齢者の加齢に伴う心身変化の成り立ちと評価方法について説明できる。
２．加齢変化や健康問題によって生じている生活への影響を説明できる。
３．高齢者の強みやもてる力に着目し、その人らしさを支えるための看護の視点を理解する。

【授業計画・内容】

第１回　老年看護の役割と意義　（　工藤　）
第２回　高齢者のヘルスアセスメントの基本　（　工藤　）
第３回　身体の加齢変化とアセスメント①　（　工藤　）
第４回　身体の加齢変化とアセスメント②　（　工藤　）
第５回　演習（高齢者疑似体験）　（　渡邉・工藤　）
第６回　基本動作と環境のアセスメント　（　渡邉　）
第７回　高齢者の転倒のアセスメントと看護　（　渡邉　）
第８回　高齢者の廃用症候群のアセスメントと看護　（　渡邉　）
第９回　高齢者の排泄のアセスメントと看護　（　渡邉　）
第10回　高齢者の生活リズムのアセスメントと看護　（　渡邉　）
第11回　高齢者に生じやすいコミュニケーション障害とかかわり方　（　渡邉　）
第12回　高齢者の健康の維持・増進と介護予防　（　工藤　）
第13回　高齢者の摂食嚥下機能の変化と食生活のアセスメント　（　工藤　）
第14回　高齢者の誤嚥予防のための支援と口腔ケア　（　工藤　）
第15回　高齢者の災害時の支援　（　工藤　）

【授業実施方法】

基本は講義形式で行います。第５回、第13回は演習による体験的な学びを通して、高齢者の加齢に伴う変化と援助方法を学修します。また、講義時にリアクションペーパー等により、学びの振り返りを行います。

【事前・事後学習】

講義内容に関する自主学習（事前学習・復習）を計15時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

「老年看護学概論」「エイジング論」「病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「リハビリテーションと看護」「老年看護学福祉実習」

【教科書等】

系統看護学講座 老年看護学 第９版 医学書院 2022
系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論 第５版 医学書院 2022

【参考文献】

ナーシング・グラフィカ：老年看護学①「高齢者の健康と障害」第８版, メディカ出版, 2025
ナーシング・グラフィカ：老年看護学②「高齢者看護の実践」第７版, メディカ出版, 2025
日本看護協会出版会：最新老年看護学　第４版, 2024

【成績評価方法】

筆記試験85%、課題レポート10%、授業態度5%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院での臨床経験や地域包括支援センター等において地域で暮らす高齢者とその家族への支援、特養の管理職として入所者・家族に関わってきた経験を活かし、医療と生活双方の視点から高齢者のＱＯＬ（生活の質）を高める看護の重要性を伝えていきたい。

【学生へのメッセージ】

老化や高齢者特有の健康障害について理解を深めながら、高齢者の尊厳とその人らしさを支える看護とは何かを一緒に考えていきましょう。